

# 現地で学ぼう！クルマのリサイクル

vol.7  
まとめ編



自動車リサイクル博士



## 学んできたことを振り返ってみよう！

“自動車の一生”に携わる人たちの取り組みを紹介してきた「クルマのリサイクル」シリーズは、今回で最終回！自動車が作られてから、大切に使われて資源に戻るまでの過程を学ぶために、たくさんの場所を見学してきたね。今回は総集編として、6回目までの内容を一緒におさらいするよ。キミはどれくらい覚えているかな？！

## 自動車リサイクルの旅スタート！

### ステップ1 解体編

## 使える部品を再利用！

お訪ねした会社：株式会社マーク・コーポレーション(三重県鈴鹿市伊船町)



いろんな部品が再利用されるよ！

使い終わった自動車を解体する時は、事故を起こしたり、環境に悪い影響を与えないようにすることが大切。だから、まず「フロントガスの回収」「エアバッグの処理」「燃料の抜き取り」などの事前処理を行うよ。その後、ドアやバンパー、エンジンなど、まだ使える部品を人の手で丁寧に外して、品質に問題がなければ「リサイクル部品」として販売されるんだ。最後に残った車体は、専用の機械で小さく圧縮して、金属資源を分別・回収する破碎工場や鉄鋼工場に運ばれるよ！

### ステップ2 破碎編

## 大切な資源をしっかりと回収！

お訪ねした会社：リバー株式会社 川島事業所(埼玉県比企郡川島町)



大きかった車体がコナコナに！

破碎工場では、解体後の車体から鉄・銅・アルミなどの資源を分別・回収するよ。解体工場から運ばれてきた車体は「シュレッダー」と呼ばれる巨大な機械で小さな破片にし、磁力や風力などを使って資源の種類ごとに分別・回収を進めていく。そして最後は、熟練した技術を持つ職人の目で分別・回収しているんだ。最後に残ったプラスチックやゴムなどの「シュレッダーダスト」についても、細かい金属資源をさらに分別・回収したり、熱源等として利用したりして、ゴミの削減に努めているよ。

### ステップ4 整備編

## 自動車の点検・整備はプロにお任せ！

お訪ねした会社：有限会社 新和自動車整備工場(岩手県紫波郡紫波町)



自動車を長く安全に乗り続けるためには、定期的に点検・整備してもらうことが大切！整備工場では、豊富な知識と経験を持った整備士さんたちが、車に乗る人たちのことを大切に思っって点検・整備をしてくれているんだ。また、自動車の部品交換の時に活躍しているのが「リサイクル部品」だよ。リサイクル部品は、使い終わった自動車から取り外された、まだ使える部品のこと。新品と比べて費用を安くできるし、ゴミを減らして資源を上手に使うことにもつながるんだ。いまある自動車を長く使い続けたり、点検・整備時にリサイクル部品を使うことは、ゴミを減らして資源を上手に使うことに役立つね。

### ステップ3 自動車販売編

## ユーザーとリサイクルをつなぐ！

自動車を購入する人は、「リサイクル料金」を支払うことになっているよ。そして、自動車販売店はリサイクル料金を預かる窓口になっているんだ。使い終わった自動車を鉄・銅・アルミなどの資源に戻す際、専門的な技術や手間をかけて適切に処理しなければならないものが3つある。1つ目は、カーエアコンに使われる「フロントガス」。2つ目は、乗っている人を事故などの衝撃から守る「エアバッグ」。そして3つ目が、最後までどうしても残ってしまうプラスチックやゴムなどの「シュレッダーダスト」だよ。リサイクル料金は、これら3つの適切な処理に使われるんだ。また、自動車販売店は、自動車の販売や、点検、修理、使い終わった自動車の引き取りなど、ユーザーとリサイクルをつなぐ窓口として多くの大切な役割を担っているよ。

お訪ねした会社：株式会社スズキモーター和歌山  
スズキアリーナ狐島(和歌山県和歌山市狐島)



### ステップ5 オークション編

## 中古車のリユースを促進！

お訪ねした場所：JU石川(石川県白山市下柏野町)



100回のオークションで約350台の中古車が出品されるんだ



「オークション」とは、「売り物に対して複数の買い手が次々に値段を提示していき、最高金額を示した人が購入できる」という仕組みのこと。オークション会場は、中古車を買いたい人と買いたい人を結んで、自動車を長く乗り継ぐリユース(再利用)を促進しているよ。オークション会場では、出品される中古車のエンジンの状態や車体に傷がないかなどを隅々まで検査している。だから、みんなが安心して取引に参加できているんだ。また、中古車を買いたい人と売りたい人の間では、リサイクル料金相当額の引き継ぎが行われているよ。自動車が長く乗り継がれることは、限りある資源を大切に使うことにもつながるんだ。

### ステップ6 自動車生産編

## リサイクルしやすいクルマ作り！

お訪ねした会社：スズキ株式会社 スズキ歴史館(静岡県浜松市南区)

自動車メーカーでは、使い終わった後のリサイクルのしやすさも考えて自動車を開発・設計しているよ。例えば、分別しやすいように部品に材質を表示したり、リサイクルしやすい材料で部品を作ったりしているんだ。だから、環境に負荷をかけにくく、かつ安全な方法で、使用を終えた自動車から資源を回収・処理できているんだね。他にも「不要になったバンパーを集めて新しい部品にリサイクルする」「使用を終えた自動車から回収したリチウムイオン電池のリユース(再利用)方法を研究する」など、限りある資源を大切に使う取り組みも行っているんだって！



## やったね！ゴールだよ！

ここまで読んでくれたキミは、自動車のリサイクルについてとっても詳しい「自動車リサイクル博士」になっているはず！自分が初めて知って「面白い」「ためになった」と思ったことは、家族の人やお友達にも教えてあげてね。

